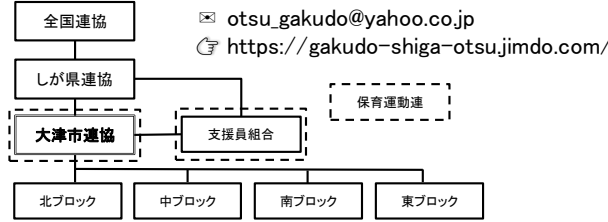


子どもたちに豊かな放課後を!

大津市内の児童クラブ保護者会からなる「大津市学童保育(児童クラブ)連絡協議会」発行

# 市連協だより



✉ [otsu\\_gakudo@yahoo.co.jp](mailto:otsu_gakudo@yahoo.co.jp)  
 🌐 <https://gakudo-shiga-otsu.jimdo.com/>

## 2020年度 今後のおもな活動予定

8月(または9月)	児童クラブ課懇談会・要望書提出
9月(または10月)	第2回 代表者会議、県連拡大代表者委員会&交流会
11月	第33回滋賀県学童保育研究集会
2021年2月21日	第3回 代表者会議、県連拡大代表者委員会&交流会
2021年4月18日	新旧合同本部役員会
2021年5月30日	第46回大津市連協定期総会

## 市連協活動のご報告

### 第45回市連協総会を開催!

5月24日(日)に大津市学童保育(児童クラブ)連絡協議会の第45回総会を開催しました。例年は「明日都浜大津ふれあいプラザ」にて総会を行っていますが、今年度は新型コロナウイルス拡大防止が求められる中、オンラインにて総会を行いました。今回の総会では、前年度活動報告と決算・会計報告、新年度の本部役員体制、活動方針・計画(右表参照)、予算、市連協会費改定に関する規約改正(下記参照)について、それぞれ議決が行われました。



### 市連協会費の改定

第45回市連協総会にて、市連協会費の改定案が可決されました。これまでの市連協会費は、規約第7条で、各児童クラブの「世帯数に1,050円を乗じた金額(5月1日時点の世帯数)」、「賛助会員個人一口1,050円」としてきました。市連協未加盟の児童クラブに対する加盟促進のため、また、新型コロナの自粛措置に伴う各児童クラブの保護者会費減額の影響により、今年度以降は「世帯数に1,000円を乗じた金額(5月1日時点の世帯数)」、「賛助会員個人一口1,000円」とすることになりました。

### 「大津っ子まつり」は中止に

市連協では、例年5月後半に皇子が丘公園で開催される「大津っ子まつり」に出店し、たこせん・ジュースの販売、スライムづくりを行っています。今年は残念ながら、新型コロナの感染拡大防止のため、大津っ子まつりは中止になりました。来年は無事に開催できることを願いたいものです。



### 2020年度市連本部役員

役職	所属
会長	瀬田
副会長	青山
広報	平野
事務局長	下阪本
会計	晴嵐
県連協担当	田上
保育連担当	膳所
大津っ子まつり担当	長等



# 「市連協」って何ですか？

大津市内の各小学校にはPTA（保護者会）、各児童クラブにも保護者会があります。では児童クラブの「市連協」って何でしょうか？保護者の皆様にとってあまり馴染みのない「市連協」について、取り組み内容や課題などを、今年度の「市連協だより」で連載してまいります。



## かつて大津の児童クラブはすべて民営でした

子どもたちが通所している大津市立の各児童クラブは現在、大津市によって運営されています。通所申込み等の手続きも大津市役所で受け付けておられます。しかし、かつて大津の児童クラブはすべて保護者による民営でした。働く保護者の切実な願いの中で、保護者による自主的な運営のもと、1970年に初めて坂本と瀬田に民営の学童保育所が開設されました。その後、1998年の児童福祉法改正と、多くの保護者からの公営化の要望を経て、2001年に大津市による公設公営が実現しました。これらに向けて継続的に取り組んできたのが、「大津市学童保育（児童クラブ）連絡協議会」、略して「大津市連協（市連協）」なのです。

## 子どもたちに豊かな放課後を！

学童保育所は、小学校や家庭とは異なる空間であり、保護者代わり・友達代わりの支援員が子どもたちに関わり、さまざまな学年の子どもたちで構成される社会です。他では得られない、子どもたちが成長する機会を提供する3つ目の場所（サードプレイス）と言えるのが学童保育所です。大津市連協は、子どもたちの「豊かな放課後」の実現のため、次の3つのスローガンを掲げて活動しています。

### ①保護者全員をつなぐ拠点となる

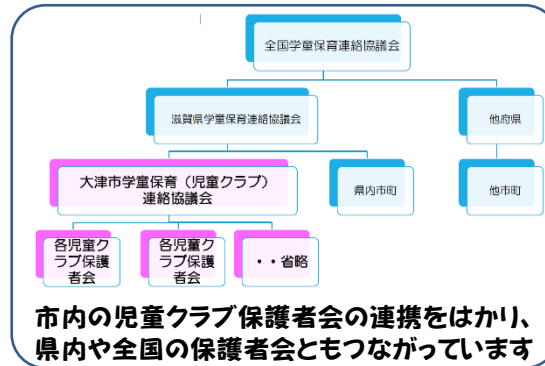
保護者からの意見の吸い上げ、保護者への情報提供などを行います

### ②学童保育所を充実させるための行政への窓口となる

学童保育所の環境改善、制度維持などを市長や大津市児童クラブ課などへ伝え、実現を目指します

### ③学童保育所の質を向上させるためのチームの輪を広げる

支援員との連携を図るとともに、全国学童保育研究集会への参加、他の自治体の学童保育所との情報共有、情報誌「日本の学童ほいく」のアピールなどを進めています



「日本の学童ほいく」を是非ご一読ください



「日本の学童ほいく」は唯一の学童保育の専門雑誌で、記事は保護者、支援員、行政と様々な立場で構成されています。働きながらの子育てに役立つ情報が充実し子供の読み物としても楽しい月刊誌です。本誌は広い目で現場を知るための貴重な情報源で、他の学童保育所と比較する事で子供が通う学童保育所の現状を見つめ直すきっかけにもなります。児童クラブにも設置されておりますので、是非手に取ってご一読下さい。

つまり…充実した学童保育の場を整備していくための団体です！

